

2019 年度実施概要

学校名

新居浜市立惣開小学校

採択活動名

海の恵みで発展してきたふるさとを学ぶ～多喜浜塩田を未来に伝えよう～

取り組みの概要

1 活動のねらい

惣開小学校の校区には、住友別子銅山にゆかりのある産業遺産が点在しており、かつて、煙害や森林伐採の解決に尽力した住友の先人たちの足跡が数多く残っている。まさに、山や川とのつながりを通して海の自然を守ってきた校区である。その特色を生かし、学校経営の理念を「自ら学び、自ら考え、持続可能な社会づくりに参画・貢献できる人材の育成」として、E S Dを推進してきた。そこで、多様なステークホルダーと協働しながら、SDG s 達成の担い手を育成するため、「ふるさと」「防災」「自然環境」「人権」の4領域で学校と地域をつなぐE S D活動を展開している。その中でも「ふるさと」「自然環境」の2領域において、海や山の環境保全に尽力した新居浜市の先人たちの取組を通して、自分たちの未来の海や環境を守る気持ちを育てることが、本活動のねらいである。

2 実施内容

各教科や総合的な学習の時間「王子が丘」において、SDG s 達成のための視点を明確にし、教科横断的にE S Dを軸としたカリキュラムマネジメントに努めた。特に「地域の環境と自分とのつながり」から生まれる「問い」に基づくカリキュラムマネジメントや授業展開によって、深い学びが生まれることを目指して、実践を行った。そして、各学年の1年間の学びの成果を保護者や地域の方に向けて発表したり、児童が相互に聞き合ったりする「E S D成果発表会」を実施した。

以下、主な学年の取組例である。

(1) 4年生 「ふるさと」「自然環境」

惣開校区の歴史や別子銅山の産業遺産、住友金属鉱山(株)と惣開との関わりなどについて、社会科や総合的な学習の時間「王子ヶ丘学習」を中心に調べ学習を行った。特に、住友の先人たちが、「百年先の街づくり」を目指して、森林伐採や海洋汚染、煙害などの対策に尽力したことを知り、山の自然を守ることが海を守ることに繋がっていることを学んだ。そして、4年生がガイド役となって、保護者や地域の方に、惣開の文化史跡や産業遺産を案内する「そうびらき ぶらりウォーク」を開催し、子どもたちの学びの成果を発信した。(資料①)

また、「自然環境」の領域において、清掃センターの見学などを通して、家庭ごみや海洋ごみ問題について調べた。(資料②)



児童がガイド役 ぶらりウォークにて(資料①)



清掃センターで海洋ごみについて学ぶ(資料②)

(2) 5年生 「自然環境」

適温の生活地を求めて、海洋を長距離移動することで知られている渡り蝶アサギマダラについて調べ、アサギマダラを呼ぶ活動を行った。校庭にフジバカマガーデンを整備し、児童が苗の植替作業や日々の除草作業などに関わっている。10月には愛媛県総合科学博物館より講師を招き、アサギマダラの生態や飛行ルート、マーキングの仕方などを学んだ。10月中旬には数頭のアサギマダラが校庭に飛来し

た。子どもたちは学習を生かしてマーキングを行った後、アサギマダラを大空に帰してやった。(資料③)

また、理科の学習において、実際に河川を河口から上流へとさかのぼって観察する学習を行った。流域による石の形状の違いや川幅などを観察することで、流水の働きによる大地の変化によって、暮らしている場所が形成されていることを理解した。また、上流域のマイントピア別子という産業遺産を見学することで、先人が自然環境の保全に努めてきた様子を学ぶことができた。そしてこの学びを社会科や総合的な学習の時間での調べ学習につなげている。(資料④)



マーキングしたアサギマダラ(資料③)



川の学習 国領川上流域にて(資料④)

(3) 6年生 「ふるさと」「自然環境」

かつて多喜浜塩田があった多喜浜校区の「塩の学習館」を見学し、ふるさと新居浜の歴史を学んだ。まず、多喜浜公民館にて、塩田の歴史を学んだ後、「塩の学習館」にて実際に塩づくり体験を行った。江戸時代の入浜式塩田から、昭和初期の流下式塩田へと変遷するまでの人々の苦労や海の恵みのありがたさを体感できる学習となった。(資料⑤ 2枚)

また、東温市の「坊っちゃん劇場」にて、住友中興の祖として知られる伊庭貞剛をモデルとしたミュージカル「瀬戸内工進曲」を観劇した。これまでの6年間の「ふるさと学習」を振り返りながら、煙害問題や植林事業に尽力した先人の生き様に触れ、「百年先を見通した街づくり」の大切さが実感できた。

教科では、理科の学習「生物のくらしと環境」の単元を通して、生物は水や空気によって周囲の環境と関わって生きていることを学び、海洋教育を通じた教科横断的なESDへとつなげている



多喜浜塩の学習館にて(資料⑤)



流下式塩田の再現装置(資料⑤)

3 成果と課題

海洋教育をはじめ、教育活動全般に「ESD for SDGs」が少しずつ浸透し、児童にとって当たり前の学習となり、取組の質の向上が見られるようになった。今後はより、主体的・対話的・探究的な学習となるよう授業改善に努めたい。

実施単元名

- | | |
|--------|--------------------------------------------|
| 1. 3年生 | 総合的な学習の時間「惣開ッズ ふるさと調査隊」(国語科・社会科と関連付けて) |
| 2. 4年生 | 総合的な学習の時間「そうびらきぶらりウォークに向けて」(国語科・社会科と関連付けて) |
| 3. 5年生 | 総合的な学習の時間「地球の環境について考えよう」(国語科・社会科・理科と関連付けて) |
| 4. 6年生 | 総合的な学習の時間「未来へはばたけ 惣開ッズ!」(国語科・社会科・理科と関連付けて) |